

事業所名

スマートキッズジュニア元浅草

## 支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。</li> <li>・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。</li> <li>・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。</li> </ul>			
営業時間		14時0分	19時0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容					
支援方法		個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	季節や気温に合わせて健康を保つための服装の調整の課題 生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 就労のための作業練習の組み立てや仕分け等の課題		教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動 就労・自立に向けたPCによる文字入力や音声入力の練習問題 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 大切な自分を守るための包括的性教育	
	運動・感覚	体全体の機能向上のための粗大運動の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 指先の機能の向上のための微細運動(ピンセットを使用したビーズの移動、ボタンの付外し等)の課題		模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 聴覚の感覚や発育、表現のための活動(歌、楽器の演奏等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)	
	認知・行動	金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 数字の理解や計算の習得に関わる課題 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題		金銭の理解に関わる活動(お昼ご飯購入等) 興味・関心の幅を広げるための活動(シルエットクイズ、好きな物はなに?等) 記憶保持に関わる活動(間違い探し、神経衰弱、これはなんでしょう等)	
	言語・コミュニケーション	コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 文字・記号、絵カード等の適切なコミュニケーション手段を活用するための課題		口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関する〇×クイズ等) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等)	
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 集団への参加や集団での指示理解のための課題		自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)	
家族支援		・家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組み、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。 ・保護者会等の保護者参加の企画を開催することで、同じような課題やお困り感を持つ保護者同士で交流する機会を持ち、実際に適切な対応を共有することで、家庭に持ち帰って実施できる連続した支援を行う。		移行支援	・日常的な連携に加え、利用者に対して就労に向けてできる支援について共有を図る。 ・将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。
地域支援・地域連携		利用者様の担任の先生と連携をとり、学校での状況や支援方法とのすり合わせを行い、実際に利用者の支援方法や環境などの整備を行い、負担の無いように環境を統一し、利用者の成長を促している。		職員の質の向上	・経年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 ・心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(お昼購入、商業施設に行こう)、調理活動(パンケーキ作り、かき氷作り)、保護者会、季節イベント、お誕生日会			